

安曇川地域住民自治協議会だより第8号

—絆をつなぎ 交流と連携で 支え合うまちづくり—

令和6年5月24日発行

令和六年度
安曇川地域住民自治協議会
定期総会を開催しました

四月二十七日(土)、安曇川地域住民自治協議会の令和六年度定期総会を開催しました。

令和五年度の事業報告や今年度の事業計画、予算等について審議が行われ、全ての議案が可決承認されました。また、役員改選が行われ、新たな体制となりました。前年度からの継続事業に加え、新たに行う事業もありますが、会員一同力を合わせて取り組んで参ります。

安曇川地域の皆さんが互いに交流を深め、長く住み続けたいと思ってもらえるような活動を行っていききたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



定期総会の様子



梅村 頼子 副会長 内村 泰雄 会長

防災部会 平井 勝也 部会長

未来部会 伊香 悦子 部会長

相互支え合い部会 清水 喜久男 部会長

就任挨拶 会長 内村 泰雄

平素は、安曇川地域住民自治協議会の活動に格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私、この度の定期総会におきまして皆様方からご推挙を受け、梅村会長の後任として会長の重責を務めさせていただくことになり、責任の重大さを痛感しているところです。これからの活動に対しまして、格別のご理解ご支援をお願い申し上げます。

さて、令和三年十二月に設立された「安曇川地域住民自治協議会」は、安曇川地域

の区や自治会が抱える人口減少、高齢化、地域の担い手不足等により地域活動が低下している現状を「自治会」単位からより広い範囲を対象とした「地域コミュニティ」を形成し、地域全体で支えることを目指し活動を行っています。協議会には、安曇川地域の様々な活動団体や個人が参加され、設置されている「防災部会」「未来部会」「相互支え合い部会」の三部会では、地域課題等の情報を積極的に収集し、課題解決のための取り組みを進めています。

このような中、歴史に残る世界的な混乱を生んだ「新型コロナウイルス」は、地域活動にも大きな影響を与え、徐々に回復の兆しはあるものの、以前のような活動が復活できるのか大変気を揉むところです。協議会としましては、地域活動の復活を目指して地域全体で支える取り組みを一層進めたいと考えております。また、協議会の活動を進める上において、課題も見えているように思いますが、例えば、役員の固定化、なり手不足等があり、活動を継続するには改善が必要であると考えております。皆様方の御力をお借りして、課題の解決に向けて微力ではありますが、取り組みを進めて参ります。



